

2023年6月29日未明、浅間山の火映現象が復活しました。「火映現象（かえいげんしょう）」というのは、火山の火口底の温度が上昇した時に、噴気（白煙）や雲にその灼熱が反映して、赤っぽく見える火山現象の一つです。浅間山で火映が観測されたのは、2年7ヶ月ぶりです。

火映現象は、火口底近くまでマグマが上昇してきている時に見られる現象で、2004年の浅間山活動の時は、火映が観測されてから約20日後に噴火しています。今回の火映は非常に微弱なもので、肉眼では全く見えませんでした。ただちに大きな噴火に結び付くことはなさそうです。しかし浅間はわずかな火山灰を降らせるような「微噴火」も起こすので、今後の火山活動を注視したいと思います。

(2023年6月29日午前1:40前後／北軽井沢火山観測カメラの動画)

